



夢をひとつつ叶えたところが、私のスタートラインです

長野県松本蟻ヶ崎高校
平成19年度全日本ナショナルチームメンバー
浅田 梨奈



あさだ・りな

1990年10月30日生まれ・16歳。母親と親子ボウリング大会に参加した小学3年生の頃から、ボウリングに夢中になる。
今年からプロアマチュアの實力派女性ボウラーが集まる「P★リーグ」(BS日テレにて毎週日曜19:30~20:00放送予定)に参戦。さらに、9月に秋田県で開催される国体の競技ポスターに採用されているから、人気、知名度とも急上昇している。2006年の全日本高校選手権で3位。そして07年の今年、初優勝を果たす。
「私のボウリングはすべての人の支えで成り立っているもの。両親、コーチは特に自分の中でとても大きな存在。もちろんこれからはすべてに支えてもらえなければボウリングは続けていけないので、すべてに感謝してこれからも頑張りたいです」とのこと。
162cm、右投げ。



「『え？優勝？私が？』って、驚きのほうが大きかった(笑)」。7月に行われたボウリングの全日本高校選手権で初優勝した浅田梨奈選手。この結果を受けて、全日本ナショナルチームのメンバーにも選出された。「目標にしていたことなので嬉しいですが、選ばれて終わりじゃない。むしろ、今よりやくスタートラインに立てたと思っています。ここから私のがんばり時です」。

現在、松本市の蟻ヶ崎高校に通う2年生。放課後は練習、週末は県内外で開催される大会に参加と、勉強とボウリングの両立は多忙を極める。「大変だけど、色々な人と会って話せるのは貴重な経験なので大事にしたいですね」。

「リズム、バランス、タイミング」を大切にしている彼女のボウリングスタイル。「主役はボール。私はボールがピンを倒せるようにアシストするだけなんです」という言葉が、彼女のもつやわらかい雰囲気と重なる。しかし「もっと技術的にも精神的にも強くなりたい。そして、国際大会に出場して活躍したいですね」と精悍さも見える。ボウリングを通してたくさんの方を吸収し、まっすぐ伸び続ける彼女の成長がこれからも楽しみだ。